

<スクールアルバム>

中学部新入生歓迎会でお誕生会♡

高等部は三溪園へ！

小学部はソレイユの丘

ヤダICS(韓国)の留学生
3週間よろしく！



お願い・ご報告

- 5月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- OMF 宣教師ご夫妻、J 先生、R 先生が、5月より英語・聖書の授業を担当してくださっています。
- 5月から体験入学をしていた FE さん(高1)、MS さん(中1)が6月より入学します。E さん、S さんのスクール生活が祝福されるよう祈りましょう。歓迎します。
- 6月15日(月)～7月4日(土)、TN さん(中1)、AW さん、AY 人さん、SM さん(中2)の4名は、交流提携校のヤダインターナショナルクリスチャンスクール(韓国)に短期留学します。石川優実先生(前半)、脇阪はんな先生(後半)も同行します。祝福をお祈りください。
- 7月の主な予定をご確認ください。
 - 2日(木) 歯科検診(午前)
 - 14日(火) 通常授業・昼食終了
 - 15日(水)～16日(木) 宿泊リトリート(小5以上) *小5は、宿泊なし
 - 15日(水)・16日(木) 小1～4 リトリート 14時下校
 - 17日(金) 特別授業(下校12時30分) *行事の関係で下校時間を変更することがあります。
 - 18日(土) 9時～11時 スタッフ・保護者清掃(*皆さんの参加をお願いします。)
 - 21日(火) 矢島幼稚園夏祭り前日準備(中学部・高等部)
 - 22日(水) 矢島幼稚園夏祭り(*校舎建設の資金作りのために出店予定ですので、ご協力をお願いします。)
 - 21日(火)～8月31日(月) 夏休み

今月のみことば(暗唱聖句)

「しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。」エペソ2:4, 5

「But God who is rich in mercy because of His great love with which He loved us, even when we were dead in trespasses, made us alive together with Christ (by grace you have been saved),」Ephesians 2:4, 5

祈祷課題

- 1、スクール関係者が主の愛と恵みに溢れて祝福されるように。
- 2、生徒一人ひとりが主体的に学んでいけるように。
- 3、ヤダインターナショナルクリスチャンスクールに短期留学する生徒達の祝福のために。
- 4、徐々に開かれていく学校法人化への道を、信仰をもって皆で進んでいけるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 6月号

2026.Jun1

VO1.225

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「神さまのベストタイミング」

小学部担任 脇阪はんな

先月末、韓国の姉妹校ヤダ ICS とのオンライン交流会を行いました。小学部では、学校法人化、新校舎建設に向けた祈りの課題を分かち合う発表の準備をしてきました。まず、新校舎はどのような学校になるのか、最新の図面を見てみました。体育館や理科室、図書室、音楽室、家庭科室などなど…。子どもたちが次々と「こんな教室もあるの?」「こんな学校になるんだ!」と驚き、期待を膨らませる姿に感動しました。さらに、小学生たちは裏山やスクール周辺の自然で遊ぶのが大好きですが、今、与えられている裏山や、休み時間のたびにおやつとして実を頂いている桑の木などはそのままに、新校舎が建てられることも、神さまからの恵みだということ分かち合いました。以前、スクールでは、旧庄戸中学校の校舎が新校舎として与えられるように神さまに祈り求めていました。その時「裏山で遊べなくなるから嫌だ!」という小学生(今の6年生)の涙、願いに神さまが応えてくださったんだね、と当時を知る先生の言葉に、小さな願いも大切にしてくださる神さまの愛を実感しました。

新校舎は、小1〜中3まで各学年に1部屋教室があり、各学年10名の生徒が共に学ぶことができます。私がスクール在校生だった8年ほど前、全校で20名ほどの時期がありました。先生方を中心に、スクール生が50名になるように祈ろう!という呼びかけがあり、祈り始めましたが、正直、当時の私はそのように心から願うことができませんでした。生徒50名になった様子がイメージできず、そんなに生徒が増えたら、温かい家族のようなスクールの雰囲気はなくなってしまうのではないかと、思ったのです。しかし、今、42名の生徒が共に過ごすスクールの雰囲気は、私が心配していた頃と変わりません。むしろ、以前に増して、小学生から高校生まで、年齢に関係なく仲良く過ごす生徒たちの姿がみられるように感じます。神さまの目からみた最善の時があり、現在のプロジェクトに向けて、神さまは着実に備えておられたのだと思います。

現在、2年後の開校を目指しています。今回、オンライン交流会に向けて準備するなかで、小学生たちにとって、この1年がどれほど大きな意味を持つのか、ということを痛感しています。今年度6年生の子どもたちは、2年後は中学2年生。新校舎での学校生活を楽しみにしている姿をみると、開校が遅れることなく予定通りに進められるように、切実な祈りが必要なのだと感じます。私がスクールの学校法人化、新校舎建設に向けた祈りの輪に加えていただいたのは、スクールで働き始めた3年前からですが、最初はこの計画のあまりの大きさに、なかなか実感をもって祈ることができませんでした。しかし、今回の発表の準備を通して、神さまは確かに祈り求めたことをきいてくださる方であることを知り、期待に溢れる小学生たちの姿をみて、さらに真剣に祈り求めるようにと励まされました。この大きな大きなプロジェクトを前にして、一人ひとりにできるのは小さなことかもしれませんが、みなさんと一緒に、最善の時を知っておられる神さまに祈り求めていると思います。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」伝道者の書 3:11

6月のカレンダー

日	月	火	水
	1 日 代休	2 日	3 日 合同礼拝（1 限） 特別授業「視覚障がい理解」 （学部別 2～4 限） 内科検診（午後）
7 日	8 日	9 日	10 日 小学部・中高等部礼拝（1 限） スポーツ・レク大会（3、4 限） （予備日：19 日（金）） Y さん誕生日
	← 前期中間テスト週間（中高等部）		
14 日 学校法人化祈り会 （第 3 礼拝後）	15 日 S さん誕生日	16 日 K さん誕生日	17 日 合同礼拝（1 限） 泉交流会（小 5、6）
21 日	22 日	23 日	24 日 学校法人化祈り会（1 限） 泉交流会（小 1～4） 特別授業「聖書考古学」（中高等部）
28 日	29 日	30 日	

- ・ 1 日（月）は、オープンスクール、ペアレンツデいの代休で休校となります。
- ・ 3 日（水）2～4 限、学部別部に、視覚障がい理解のための特別授業を行います。講師は、小竹広美先生です。
- ・ 3 日（水）午後、内科検診を行います。
- ・ 4 日（木）、尿検査②を実施します。①で提出できなかった人は、必ず 9 時までに忘れずに提出してください。
- ・ 4 日（木）、昼清掃、帰りの会を行った後、5 限にヤダ ICS 短期留学生の歓送会を行います。ヤダ生は、翌日 5 日（金）13 時 30 分の成田発で帰国します。（帰国当日は来校しません。）
- ・ 8 日（月）～12 日（金）は、前期中間テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 10 日（水）4 限の授業を 2 限に行い、3、4 限に、スポーツ大会を行います。なお、雨天の場合は、通常授業を行い、スポーツ大会は 19 日（金）5、6 限に延期します。
- ・ 12 日（金）5、6 限、高等部は、オイコス計画という働きで、日本の家庭にトラクト配布をするために、海外から来日した 4 名のメンバーと一緒に、トラクトを配布します。
- ・ 14 日（日）、本郷台キリスト教会第 3 礼拝後、レインボーホールにて、学校法人化のための祈り会をします。法人化に向けて、関係者の皆さんで課題を共有し、祈りをしたいと思います。ぜひご参加ください。毎月第 2 日曜日に行っています。
- ・ 17 日（水）、小 5、6 は、ふぁみりーさぽーと泉（デイサービス）で交流会をします。小 1～4 は、翌週 24 日（水）に行います。よい交流の時となるよう、お祈りください。
- ・ 18 日（木）は、スクール開校記念日で休校です。
- ・ 24 日（水）、中高等部は、「聖書考古学／キリストの時代のオイルランプをつけてみよう」と題して、特別授業を行います。講師は、東京キリスト教大学の菊池実先生です。
- ・ 25 日（木）は、スタッフ特別支援研修会のため、昼清掃・帰りの会・5 限を行い、下校は 2 時 30 分です。

木	金	土
4 日 検尿② ヤダ生歓送会 (5 限)	5 日 委員会活動 (6 限)	6 日
K さん誕生日		
11 日	12 日 トラクト配布 (5、6 限 高等部) クラブ活動 (6 限)	13 日
S さん誕生日	A さん誕生日	
18 日 スクール開校記念日 (休校)	19 日 (スポーツ大会予備日 5、6 限) クラブ活動 (6 限)	20 日
25 日 スタッフ特別支援研修会	26 日 クラブ活動 (6 限)	27 日

・資金作りのための作業は 22 日 (月) 10 時 30 分～桂台教室にて行います。問い合わせは鈴木 桜子まで。

子育て note

「想像する力」

古い時代の私たちが、大切なものとして保存してきたアルバムというものが、場所ばかり取るだけで、不必要な物になりました。そこで、アルバムを壊して捨てることにし、昔の写真をスキャンして、フォトフレーム(これも少し時代遅れ)に納めました。部屋に入って、灯りのスイッチを押すだけで、私の小学時代から今の孫たちに至るまで、自分も含めて家族一人ひとりの成長の過程を、何気なく見ることができています。

何気なく見ながら気がついたのですが、小中学生の頃の自分と今の自分は、一つのいのちの延長として、繋がっている(当然のことなのですが)ことを改めて思いました。その頃に体験したことが、今の自分を形作っていたのです。そこはいわば、人生の土台作りの日々だったのです。何かを絵にする、国の未来図などを(幼稚ながらも)想像することが大好きだったのですが、あの頃の自分が、今の自分になったのです。女の子たちの世界はお母さんごっこやお店屋さんごっこから始まり、男の子たちは戦いごっこが大好きです。その辺からさらに様々な想像の世界「～ごっこ」の世界(今はゲーム?) に入れ替わっていきます。

その想像力が、とても大切です。昔、漫画の中で想像力に基づいて描かれた世界が、今この時代、どんどん実現してきています。想像力と物を創造する力とは連携しているようです。夢や願いや関心ごとは、子供たちにとってとても大切です。彼らは習い事やスポーツなどを通して、情熱を持ち世界一になる等の強い渴望を持ちます。

しかし、全ての子供たちが、夢を描き、願いや望み、渴望などを抱いていくようになるわけではありません。そうなれるための、環境があります。その環境とは、静かに静まることのできる家庭、思いやりのある家庭、優しい家庭、共感してくれる親たちです。厳格な家族や争う家庭は、子供たちが、あるがままになれないので、望ましくありません。子供たちが自由に描いたり、想像したりできるように、親たちが抱えている悩みや困難をあまり子供たちに負わせることなく、彼らが十分に子供らしさを楽しむことができるように、できる限り環境を整えてあげましょう。

校長 月井博